

社会文化システム研究科

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

社会文化システム研究科は、広範な基礎学力と高度な専門性に基づいて社会と文化を一つのシステムとして総合的に把握し、文化現象や社会現象の今日的課題に積極的に取り組み、分析し、解決できる能力を持った人材を育成するため、様々な視点や広い視野を獲得して課題解決に積極的に応えていく意欲のある人を、国内外から広く受け入れます。

また、社会文化システム研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 様々な社会・文化現象を一つの総合的なシステムのうちに位置づけ、それらの関連性を理解し、現実的に問題を解決したいという意欲と能力を有している人
- 今日の地域社会や国際社会の抱える政策諸課題に対し、積極的に取り組み解決しようとする意欲と能力を有している人

以上のような観点から各専攻では、次のような学生を求めています。

修士課程

（文化システム専攻）

文化システム専攻では、人間の認知行動や世界の多様な文化現象を総合的なシステムとして研究することを目的としています。

また、文化システム専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 言語学、心理学、歴史学、文化人類学、哲学、文学など、人文科学の専門分野に関する基礎学力を有している人
- 人間の思考・行動過程のメカニズムや世界の多様な文化現象に対して、旺盛な探究心を持つ人
- 自分が身につけた専門的知識を、現代社会の文化的諸課題の解決に役立てたいと考えている人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（筆記試験（専門科目）、面接、出願書類を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口述試験、出願書類を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（A方式：筆記試験（専門科目）、面接、出願書類を総合して判定。
B方式：筆記試験（日本語）、口述試験、出願書類を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接、志望理由書、研究計画書、推薦書等の出願書類を総合して判定）
- (5) 協定校（外国人留学生）推薦入試（日本語能力認定書（N1）、志望理由書、研究計画書、推薦書等の出願書類を総合して判定）

（社会システム専攻）

社会システム専攻では、自治体と企業及び国際社会という3つの社会システムに焦点を当て、政策諸課題を研究することを目的としています。

また、社会システム専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 法学、政治学、経済学、経営学、社会学、地理学など、社会科学の専門分野に関する基礎学力を有している人
- 今日の多様な社会現象に対して、旺盛な探究心を持つ人
- 自分が身につけた専門的知識を、地域社会や国際社会の抱える諸課題の解決に役立てたいと考えている人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（筆記試験（専門科目）、面接、出願書類を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口述試験、出願書類を総合して判定）

- (3) 外国人留学生入試 (A 方式：筆記試験 (専門科目)、面接、出願書類を総合して判定。
B 方式：口述試験、出願書類を総合して判定)
- (4) 推薦入試 (面接、志望理由書、研究計画書、推薦書等の出願書類を総合して判定)
- (5) 協定校 (外国人留学生) 推薦入試 (日本語能力認定書 (N1)、志望理由書、研究計画書、推薦書等の出願書類を総合して判定)